

製品名: CHK1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80519**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	CHK1
別名	CHEK1
遺伝子 ID	1111.0
SwissProt ID	O14757
免疫原	大腸菌で発現した CHK1 の精製された組み換え断片。

背景

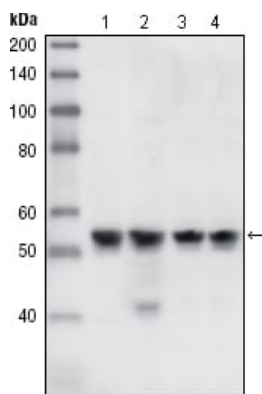
CHK1 (別名 CHEK1) は、細胞周期制御、特に有糸分裂開始において重要なホスファターゼである cdc25 をリン酸化させるキナーゼです。chk1 によってセリン 216 がリン酸化されると、cdc25 は細胞質内のアダプタータンパク質に結合します。そのため、Wee1 に

よって付加された MPF (有糸分裂 / 成熟促進因子) から阻害リン酸を除去することが阻害されます。その結果、細胞は有糸分裂を開始できなくなります。chk1 は in vitro において p53 のセリン 20 をリン酸化することもできます。

研究分野

-

画像データ



A431 (1)、Hela (2)、NIH/3T3 (3)、K562 (4) 細胞溶解物に対する CHK1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。